



平成29年 3月31日

新たに水位周知河川に指定した 石狩川水系想定最大規模の降雨による 洪水浸水想定区域等の公表について

～的確な避難行動につながる防災情報の周知～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、関係機関と連携して、ハード・ソフト一体となった減災の取組を進めているところです。

減災の取組の一環として、市町村長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難に役立つよう、新たに水位周知河川に指定（3月31日付け）した石狩川水系永山新川・牛朱別川において、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫想定区域を公表しました。

平成27年の水防法改正を踏まえ、これまでの洪水浸水想定区域^{*1}を見直し、公表しました。洪水浸水想定区域等をご覧になるには、旭川開発建設部治水課及び北海道開発局建設部河川管理課において縦覧しているほか、ホームページで公表しておりますのでご参照ください。

【石狩川水系永山新川・牛朱別川 URL】

http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/kawa_kan/ud49g7000000tr7t.html

※旭川開発建設部ホームページの石狩川水系永山新川・牛朱別川 洪水浸水想定区域図 (<http://www.hkd.mlit.go.jp/as/tisui/vkvvn80000001hme.html>)については、現在、更新作業中のため、上記URLの北海道開発局ホームページをご参照ください。

【効果】

今回の公表では、想定し得る最大規模の洪水により浸水が想定される区域と深さに加え、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域を示した家屋倒壊等氾濫想定区域^{*2}も公表しています。これらの情報により、市町村長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難の取組が進むことが期待されます。

洪水浸水想定区域等は、浸水区域に含まれる市町村に通知され、当該市町村は今後、「早期の立退き避難が必要な区域」を示した洪水ハザードマップを作成することとなります。

※1 洪水浸水想定区域とは

水防法第14条第1項の規定により、対象とする河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域です。平成27年水防法改正では、洪水浸水想定区域の前提となる降雨を、従前の河川整備の基本となる計画降雨から想定最大規模の降雨に変更し、全国の河川で見直しが行われています。

※2 家屋倒壊等氾濫想定区域とは

一定の条件下において、家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域です。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

治水課 治水課長 一法師 隆充 (電話 0166-32-4234)

治水課 治水課長補佐 萬谷 俊哉 (電話 0166-32-4237)

旭川開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/as/>

旭川開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit_hkd_as